

# 京都の生協

No.4 (特別号)

1986 ● SEPTEMBER

発行/京都府生活協同組合連合会

特集

主婦体験者  
はしだのりひこ——生協をゆく



# 生協のあゆみは、あなたとともに

生協組合員の願いは、家族のしあわせと豊かなくらし。それに——平和。そんな願いをあつめて京都の生協のあゆみが続いています。北へ、南へ、協同の輪がひろがっています。

地域社会の一員として、京都の生協がはたすべき役割は日に日に強く、大きくなっています。それは、京都の生協によせられるさまざまな期待となつてあらわれています。

京都の生協は、「21世紀の京都」をめざし、あなたの「まち」に、あなたの「むら」に、広く深く根ざしていくことでしょう。

30万の生協組合員とともに——。

そして、あなたとともに——。

## CONTENTS

はしだのりひこ生協をゆく	
かもめBOX	2
西新道商店街	6
立命大生協	10
生協10問10答	14
対談——私のくらしにとっての“生協”	18
図表でみる京都の生協	22
生協を知る本	24
生協へ——私のひとこと	25



## 特集

# “主夫体験者”の目についた京都の生協

はしだのりひこ「生協をゆく」

主婦ならぬ「主夫」という言葉がある。妻にかわって家事いっさいをやりくりする亭主のこと、とでもいえばよいのか。作家など、自由業のばあい「主夫」になるケースがあるようだ。

はしだのりひこさん——。フォーク・クルセダーズでデビューし、「帰って来たヨッパライ」が大ヒット。それ以後も「風」「さすらい人の子守歌」「花嫁」などで多くの人々に親しまれてきた歌手である。

この歌手はしだのりひこが、ある日、「主夫」になった。「主夫」として家事をし、子供の世話をし、近所の主婦たちとも「井戸端会議」をすることになった。最近刊行された『お父さん、ゴハンまーだ』は、その体験記であり、この間の事情が綴られている。

この「主夫体験者」はしだのりひこが京都の生協を見たとき何を感じとるか。

いま、京都の生協は、京都の地域社会の一員になろうとしている。そのために、京都の生協は、自らの役割を明らかにするために努力をつづけている。この生協の活動は、「主夫体験者」の目にどのように映るのだろうか。

この特集「主夫体験者はしだのりひこ——生協をゆく」は、そんなことから企画されたレポートである。

はしだのりひこの訪問先は、いずれも京都の生協を代表する、最先端部分といえるもの。

「かもめBOX」——。京都府漁連と京都生協の産直活動として育てられているもので、京都の漁港に上がった魚が、尾頭つきのまま、事前に予約した生協組合員のところへ届けられるというしくみである。

西新道商店街の「ワイワイサンデー」

——。西新道商店街と生協とは、いまガッチリとスクラムをくもうとしている。主生地域が地域間競争で生きのび、活力あふれる「まち」となるために。「ワイワイサンデー」は全国でも例のない西新道商店街と生協の共同の“まつり”である。

立命館大学生協——。4億円に及ぶ負債をかかえ、「事実上の倒産」といわれる状況からスタートし、学園に広く深く根ざした大学生協をめざし立派に再建をとげてきた生協として、多くの教訓を残してきた。

これら3つの訪問先での見聞を通じて、はしだのりひこさんがつかみとった生協の姿を、お伝えしたい。



はしだのりひこ(端田宣彦)さん

1945年1月、京都に生まれる。  
1964年、同志社大学入学。在学中からフォークブームの火つけ役となる。  
1967年、フォーク・クルセダーズに参加、「帰って来たヨッパライ」が大ヒットする。以後、多くのヒット曲を生み出し、音楽活動を続ける一方、司会やディスクジョッキーなど多方面で活躍。  
1983年、妻の入院を契機に主夫生活に入る。  
現在、京都市伏見区に腰をおしつけ、二人の子どもの父親業に専念するかたわら、その体験を生かして「母と子のコンサート」に打ち込み、家族のあり方や教育の問題を考え続けている。主夫体験をつづった著書『お父さん、ゴハンまーだ』(教育史料出版会・86年3月)は、好評のうちに増刷され、著書を原作にした中山節夫監督による映画化の話も進行している。



## はしたのりひこ かもめBOXの 秘密を探る

愛を運ぶ「かもめBOX」というものが、主婦の間で評判になっている。京都生協が舞鶴の京都府漁連と提携して行っている魚の産地直送便の愛称である。とれたての新鮮な味が、毎日京都まで届けられているという。主夫体験者であり、かつ自ら超新人類を標榜するはしたのりひここととして、は、そういうウマイ噂を放ってはおけない。早速そのかもめBOXを求めて、行動を開始した。太秦の、とある家庭にかもめBOXが届いたら、生協の組合員の主婦たちが大勢集まって、今まさに魚を分けあっているという。さあ、その現場を押えて、新鮮な魚にお目にかかる。できたらごちそうにもなってみよう。

### ●かもめBOX

# 愛、真心、そして協同への熱い想いを 新鮮な気分でお届けします。

## 愛と平和を運ぶのは コウノトリだけじゃない

まったく新しい形の「井戸端会議」だった。右京区太秦の土生（はぶ）さん宅へ着いた時には、既に6人の組合員さんが集まりワイワイ、ガヤガヤ。この光景を見ただけでも「かもめBOX」の効能はわかる。

大まかな話をすると、このかもめBOX、2週間に1回、舞鶴の漁港から生協を経由して各班、各家庭に届けられる。年がら年中あるんじゃなくて、1期が2カ月で秋、冬、春の3期。隔週で12回、新鮮な魚が届くというのだ。値段は1箱3,000円。ただし中身に関してはフタを開けるまではわからない。その日の漁模様によって当然変わってくるのである。ちなみに、この日の中身は、ズルメイカが5本、はまちが1匹、太刀魚3匹、飛び魚15匹、種類も量も豊富だ。これで3,000円は安い。ウチの家族は、特にボクは魚が大好きで、1週間に5日食べても飽きることを知らない猫もどき。こういうのはとてもウレシイ。

値段、種類の事情はわかった。そこで次に気になるのが分け方だ。まさかフタを開けた瞬間、取った者勝ちというこたあないだろう。と、土生さんから一言。

「私たち、曲がりなりにも『協同』を旨とする生協の組合員ですから、あくまでも話しあいよ、ネッ!!」

周囲に同意を求めるその語尾とはウラハラに、皆の視線はライバル意識む



「そうか、かもめBOXで夫婦仲がよくなっているのか」と土生さん宅で

き出しだったりして……。おっとこれはジョークジョーク。でも、ホント、楽しそうだね。安くて新鮮な魚が食べられて、しかも仲間とワイワイ。話のネタは子どもの教育から亭主のグチ、生活の知恵まで実に様々。ウチの嫁ハンにもこんなことさしたりたいな。

それからまだ気になることがあるぞ。料理の方法。たとえば今日のはまち、ちゃんとさばけるのかな。

「大丈夫。試しにやってみましょうネ」  
ということで、実に鮮やかな包丁さばきを見せていただきました。

「私たちね、新鮮なお魚を届けてもらうだけでなく、生産者の人達とも積極的に交流して『包丁教室』なんていうのを開いてもらってます。お料理の仕方まで教わっちゃうんです。だから3枚におろすなんてオチャノコサイサイ、ハッピーサイ。忍びの元祖は白雲齋」(ナンノコッチャ?)

なるほど、これはイイ。「ところでかもめBOXが始まって2年。何か変わったことは」とたずねたら、実に愉快的な答えが返ってきた。

「亭主の帰りが早くなりましたワヨ」  
なるほどそうか、ピチピチの新鮮なお刺身がウンと食べられるんだ。魚好きでなくても、そりゃ

あ早く帰ってくるはずだ。離婚寸前までいった夫婦がかもめBOXで救われたという話も、まんざらウソではなさそうだ。これはもう、愛と家庭の平和を運ぶ「かもめBOX」だ。

## 真心と協同の熱意で できたかもめBOX

舞鶴の卸売市場についたのは朝の9時。既に多くの魚が水揚げされてセリにかけられるのを待っていた。太刀魚と飛び魚が多いようだ。季節にふさわしく、はもの姿も見かけた。どの魚も新鮮そのもの。

ここで実際にかもめBOXに魚を詰め込む作業をしている主婦や、かもめBOXのための魚をセリ落としている仲買人さんの話を聞いてみた。

詰め込みをしているのは、漁に出ている船主のおかみさんたちだ。彼女達は口々に「戦争を乗り越えてこの仕事に出ているんですよ」という。ご主人が漁に出るのは夜中の1時頃。彼女達は欠かさずいつも、船の出漁を棧橋から見送る。昔は漁に出たまま遭難して帰らなかったことも多かったらしい。その名残だという。そして家事をすませ、買い物をすませて作業に集まる。春、秋はまだしも、冬は氷詰めが辛いという。でも、「生協の組合員さんからお礼の手紙をもらったり、励ましの手紙をもらると、ああ、喜んでもらっているんだなとこちらも嬉しくなってきました」という笑顔には、お世辞も、誇張もない。

魚をセリ落としているのは川又水産という会社の仲買人さん。こちらも話を聞いてみると大変だ。朝は6時頃から枕元においた電話でその日の魚種や漁獲量、さらにはあちこちの市場の値段など情報を収集し、今日のかもめBOX用にどの魚をいくらぐらいで、と大体の見当をつける。そして実際に市場にやってきた時、最終的に品目と値段を決め、セリにのぞむ。難しいのは同質の魚の数を揃えることだ。1番目の箱も100番目の箱も同じような質、量で詰め込まなければならない。ヤバイのは「シケ」の時だ。これはやむをえず「欠配」するしかない。あらかじめわかっている時はいいが、当てが外れた時が困る。去年は3回あった。

セリも難しい。見当を付けてもセリ落とせなかったら元も子もない。“帰っておいでよと振り返



勇壮なセリにも特別参加。「これはむずかしいノ」

ても、そこにはただ風が吹いているだけ”である。ちなみにボクも指の出しかたや符丁を教えてもらって、にわか仕立ての仲買人としてセリに参加した。がいかんせん早い者勝ちの世界。完全に圧倒されてしまった。“振り返らずただ一人、一歩ずつ…”(もういい!っての)。

ともあれ、産地の神経と体力の結集が、かもめBOXとなり、生協組合員のもとに届けられているのだ。うん、かもめBOXには、生産者の真心と協同の熱意が、いっぱい詰まっているんだ。

◀「生協の人に喜ばれたら、こちらの苦勞もふきとびます」と漁協婦人部のみなさん  
▼「漁業を守るために協同の発展を」——府漁連の杉村参事と語りあう



## 漁業を守り 生活を守るためにこそ

とまあ、ここまでは、うんうんなるほどな々と、調子よくすすんだ。ところがだ。最後に聞いた府漁連の幹部の話に、ボクはカウンターパンチをくらわされた。

「漁業に従事する人の平均年齢は54歳。20歳代の従事者は全体の0.4%」だという。

実に250人に1人しか若者がいないということだ。そして、ここからが肝心。聞いて驚くなかれ

「従事者一人当たりの年間の平均収入は174万円です。これが京都の漁業の現実です」

矢継ぎばやに聞かされた数字のシビアさに正直いってボクは、二の句がつけられなかった。日本の漁業に未来はあるのか——。この現実を打開し、漁業従事者を守り、漁業を発展させる一つの道として、府漁連は、生協との協同にも着手したのだという。それがかもめBOXだったのだ。

漁連側の窓口にあたる販売部流通担当の植田さんは言った。

「かもめBOXは、京都でとれる大量のイワシをどうして食べてもらうかということからスタートしました。二次製品や飼料にするだけじゃなく、イワシの本当の味を知って、どんどん食べていただきたいのです」

また、参事の杉村さんは、

「もっと現実的な協同事業も起こしていきたいですね。イワシを頑張って食べていただくのはもちろん、京都生協の第1次加工センターを舞鶴に作ってもらうというのはいかがでしょうか。そうすればここでの雇用対策にも協同で関わってもらうことになります。将来はその辺までの協同ができればいいですね」

と語った。その表情はとても真剣だった。

うーむ、もちろんこの生協との提携、協同だけで、バラ色に輝くわけではないだろう。始まったばかりの協同事業。「安全」のために『酸化防止剤』を使用していない魚の加工品も供給しているが、日もちが悪くなる。それが正確に組合員に伝わっていないため、クレームとなって出てきたりのトラブルもあるようだ。

だが、そんなことは小さなことだ。一番大切なことは、瀕死の状態にある漁業に、少しでも光明がさすことだ。そうか、さっきの漁連のおばちゃんたちが、凍てつく真冬の吹きさらしのコンクリートの上で、かもめBOXの氷詰め作業をする。あの苦勞、あれは、この光明を求めてのことなのだ。

かもめBOX、新鮮な魚がたっぷりつまった、なんの変哲もない発砲スチロールの小箱だが、そこにはボクをギョッとさせた漁業の現実とその打開にかけた生産者の熱い想い、そして「おいしい魚が食べられて、家庭円満の一石二鳥」と喜ぶ組合員の笑顔が、ぎゅーと詰まっていた。

○月×日。インケツや。キッカケはナン  
 やったか忘れてけど、朝から夫婦ゲンカ。  
 ふんだりけったりや。勝ち負けは別にして、  
 こんな日は絶対に調子悪い。そこへ来て、  
 せっかくの日曜日やというのに仕事ときて  
 いる。あーあ、ついてないな。それも今日  
 は商店街と生協の“協力・協同事業”を取  
 材するということだから、一時的であるに  
 せよ、嫁ハンとの協力関係に“ヒビ”の入っ  
 たはしだのりひこでは具合悪いのちがう  
 かなあ、などと思ったりして……。まあと  
 にかくこういう時には仕事にハツ当たりを  
 するに限る。  
 だから男はやめられない。

## はしだのりひこ 商店街との提携 見て歩記



### ●西新道商店街

# “協同”のかたち 「ワイワイサンデー」訪問記

## これはオモロそうや 嫁ハンもよんだろ

カル〜クロ笛を吹きながらやってきたのは、中京区の西新道商店街。四条通りから狭い西新道通りを下がると、両側にはいろんなお店がぎっしり並んでいる。今日は商店街と生協の協力・協同事業の一環だというイベント「ワイワイサンデー」があると聞いてやってきた（その昔、ボクもラジオでワイワイカーニバルな番組をやっていたけど）。それにしてもにぎやかだね。とりあえず待ち合わせ場所の商店街の事務所までいってみよう。

完全にお祭りだ。子ども御輿に模擬店、特設ステージでの六斎念仏。美山町農協の産直店、今注目を集めている国鉄労働組合の模擬店、もちろん生協の店も。オモロそうやなあ。そや、嫁ハンもよんだろ。関係を修復する、エエ機会や。まあ、「アメとムチ」ちゅうとこやね。電話したら案の定二つ返事で「行く、行く」。朝は不貞腐れたお多福面してたくせに、夫婦協同で「協力・協同事業」の取材もエエのと違う？やて。よう言うね。

## 生協と商店街って ライバルやろ？

しかし解せんなあ。生協と商店街って、まったくのライバルやと思てたけど、この商店街ではお互いに協力・協同を表明してるし、実際に商店街の振興組合と、生協の事務所が同じ場所にあたりで、こんなに仲がエエというものはじめてやね（我々夫婦もチト見習わなアカン）。

商店街の近くには、生協の組合員センター（生

協の店舗）もあるし、ただでさえ生協というのは、自分とこの商品は安全で安心やけど、他の店で売っている商品は添加物やなんやかやで危ないとゆーとるといふ。そんなとこと商店街が協力するとは理解できませんよ、第三者としてはね。おまけに最近の生協は、組合員の数も驚異的にふえて、言葉は悪いかもしれんけど、販売力は大手スーパー

なみ。お客を取られるという不安はないのかな。

生協だけと違う。国鉄労組の店や、美山町農協の店も、なんであるんや。

オオッ、来よった来よった。オーイ、嫁ハン、ここやここや。新菜（小四の娘）も一緒。どうや、にぎやかやろ。コラコラ、嫁ハンときたらもう買いもんじに精だしとる。今日は仕事やぞ。

新菜ちゃん、夫人と一諸にお祭り見物。国鉄の出店で腕章をプレゼントされ、ごきげん！



## 「協同」って なんだ？

商店街のおとなりにある壬生寺の協力を得て、特設ステージでくりひろげられる六斎念仏に見とれていたら、ちょっとちょっとと腕をひっぱられて、目と鼻の先の商店街会館へ。なんでも、生協の事務所と商店街事務所が同居する、全国唯一の建物だそう。2階のま新しい畳の上に、商店街と生協の代表の方が集まってくれていた。

さて、何から聞いてみよかいな。新菜は一人で祭り見物。エエ娘や、エエ娘や。

「生協と周辺の商店街とは、真っ向から対立しているみたいに思われているかもしれませんが、私たちの立場としては、協同できる部分の方が多いと思っていますよ」

京都生協洛中支部長の古家野さんは、こう切り

出した。おっと、いきなり核心にせまってきたな。今日はちょっと荒れてましてね、タテマエの話ではひき下がらんぞ。

「この商店街は、商店数が200余りに達する京都でも三本の指に入る商店街なんです。でも、やっぱり小さな商売人の寄り合い世帯ですから弱いもんです」

西新道商店街振興組合理事長の坂田さんは言う。うーん。ボクのおヤジも小さな小売店をやっているから、そういう話はよくわかる。

「そこへもってきて、すぐ近くにある国鉄二条駅の再開発事業で、スーパーや百貨店の進出が具体的日程にのぼっているんです」

そりゃ、えらいことですよ。風雲急を告げる時代の波をモロにかぶってしまうじゃないか。

「ただでさえ、朝早くから夜遅くまで働いているおヤジの姿を見て、息子は会社勤めに行ってしまう。後継ぎがなくて、廃業においこまれて、商

店街に歯抜けができてしまう」

あいた、これはちょっと茶々を入れにくい。このままでは商店街はジリ貧だ。その打開の道を、商店街は「いろんな団体、組織との協力・協同」に求めたのだと、坂田さんは言う。その相手の一人が“生協”。

その話を開始したとき、商店街側も生協側も、カンカンガクガクのやりあいになったそう。商店街の方では「百聞は一見にしかず」とばかりに、生協がやっている産直事業などを総出で見に行ったりした。生協も、組合員の間でつこんだ議論をたたかわせた。その結果が、古家野さんの冒頭の言葉。

うーん、どうも言葉にすると軽いなあ。とにかく生きのびるための模索を重ねてきたのだ。そう、生協のCO-OP商品と商店の売る商品が多少重なる問題に目くじらを立てているだけでは何も変りはない。商店街が生きのびるかどうか、その瀬戸

際にたつて、商店街は生協との提携を打ち出したし、生協も商店街と仲良くやっていける可能性を真剣に模索する。

いいかえれば、「その辺の商店街がつぶれようが知るもんか」という儲け本位のスーパーとは、どだい共存の道はありえない。しかし、「消費者の安全を守り、暮らしを豊かにする」をスローガンにかかげる生協とならば、商店街も安心してスクラムを組める、というわけだ。

メリットもいろいろあるようだ。商店街の方は、生協組合員にサービスすることによって、街に足を運んでもらう機会がふえれば、活気が出てくる。生協も、生花などこれまで取扱っていないものを商店街の協力で、組合員センターに置くことができるようになった。

スーパー進出反対などで、共同の行動もできる。こんな協同の象徴が、今日のこのお祭りなんだな。

## いい街、いい人、 いい祭り

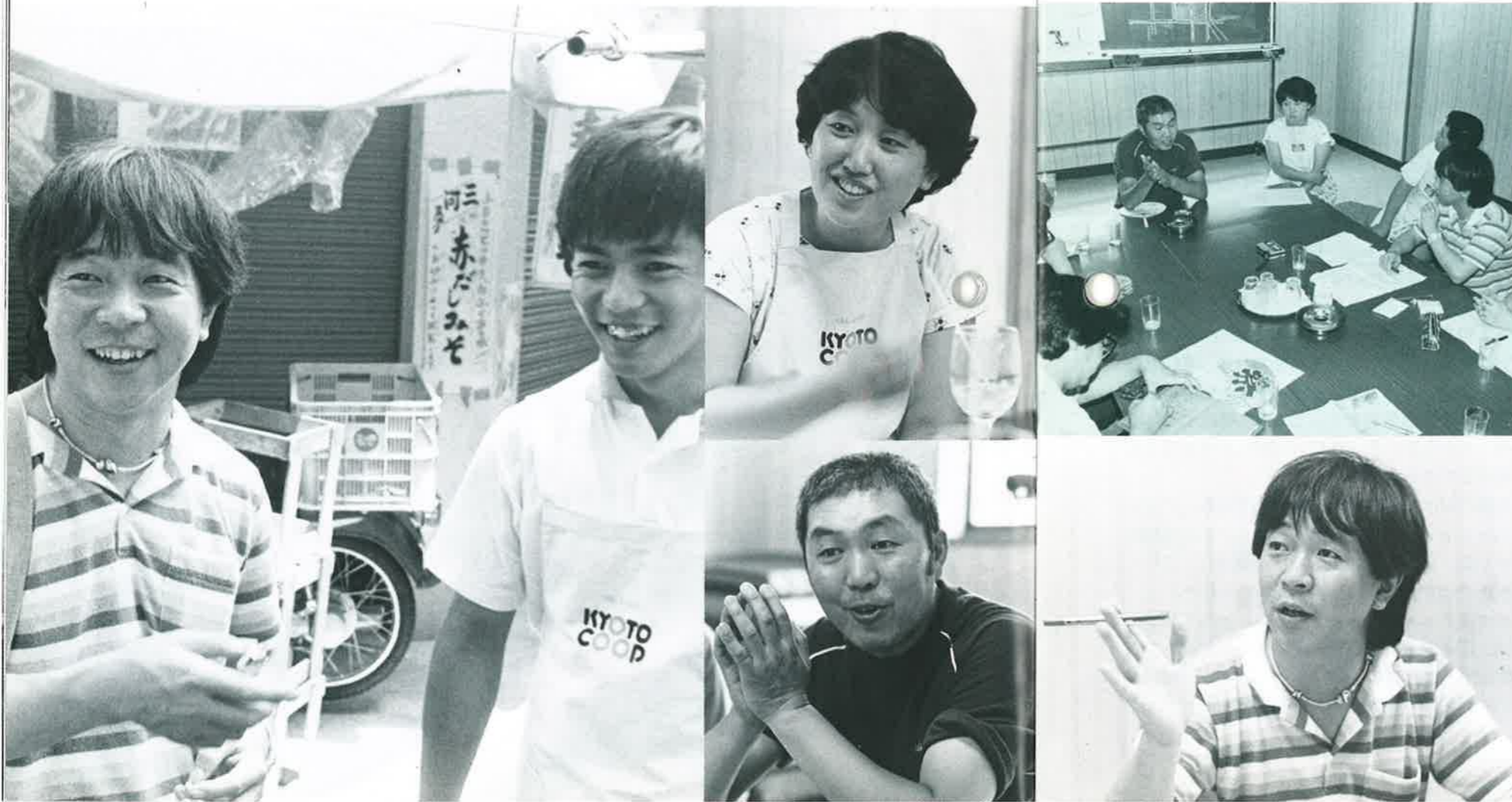
お、新菜が帰ってきた。どや、お祭り面白かったか。そうか、竹トンボもろたか、大工のおじちゃんが飛ばし方教えてくれたんか。お父さんも、昔ながらのちょうちんの作り方、見せてもろたんやで。生協のお兄ちゃんは、洗剤に入っている蛍光増白剤や食品添加物の怖さを教えてくれたっけ。車掌さんの腕章をプレゼントしてくれたのは、国鉄のおじさんや。

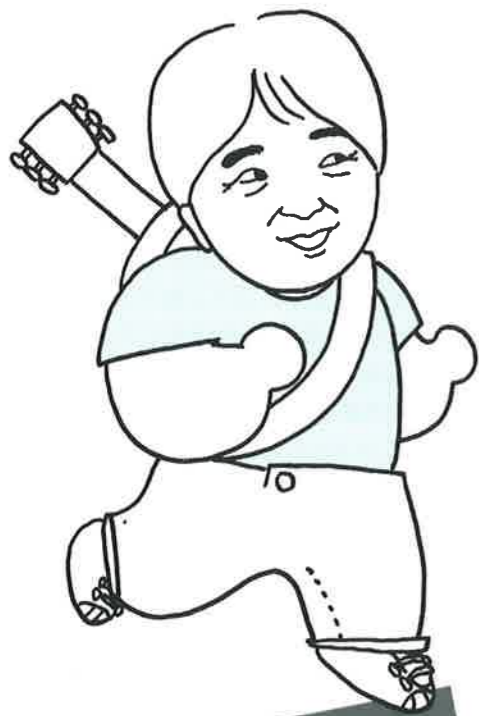
なにかこう、あったか味があって、人間がもっている息づかいが伝わってくるような祭りやね。それをプレゼンテーションできる西新道商店街。

こんな街が、生協と一緒にスーパーに負けることなく発展していったら、これは快挙だ。

いつとはなしに、朝のケンカもどこへやら、一家三人、熱気ムンムンのお祭りに心をとけこませながら、買物袋片手に帰るボクだった。

懇談の全景写真を中心に  
左が生協組合員の稲村さん、左下が西新道  
商店街の坂田理事長





## はしだのりひこ 20年ぶりの キャンパス訪問

「立命館大学」。なんとなくライバル意識をかりたてる名前だ。今をさかのぼる20年ほど前、ボクは同志社大学の学生だった（もっとも当時、すでに音楽活動に時間の大半を費やし、ほとんどキャンパスへは顔を出さないという事実はあったけれど……）。京都の人間は、なにかにつけて、この2つの大学を比較する。その立命館大学の生協の取材だ。思い起こせば、フォーカスが世に出る前、アマチュア時代にコンサートのチケットを売りにきて以来、実に20年ぶりのことだ。

### ●立命館大学生協

# 苦難(3億円横領事件)のりこえ キャンパスにひろがる信頼の絆

雨が上がったとはいえ梅雨のこと。今にも降り出しそうなドンヨリとした雲が、衣笠山から垂れ込めている。まあよい、門をくぐれば、キャンパスにひろがるのは、今をときめくキャピキャピお嬢様シンドローム！の、はずだったんだけどな。少ないな、目につくのは男ばかりやんか。エーイ、仕事じゃ仕事じゃ。

## なんでもそろえて 学生生活をバックアップ

立命館大学。学生、教職員あわせて1万9千人。京都はもとより、関西でも指折りの私学の雄だ。

生協の事業規模では、年間供給高で30億円。これも全国トップクラス。一人当たりの利用高は15万7千円。わが同志社は10万円だと。ウーム、負けているのか。しかし、ギャルの数では勝っている。

やっていることも、なんとも手広い。購買部では、高級オーディオからパンツまで、ありとあらゆるものを取り扱っている。それだけじゃない。旅行代理業、レンタル、プレイガイド、運転免許の取得まで、なんでもござれ。今年からは、それまで大学厚生課がやっていた下宿の斡旋まで生協がやっているという（ただし、ギャルやお嫁さんの紹介まではしないのだ）。

生協のおばちゃんもよく勉強している。ニューファッションがそろった購買部のレジにいたおばちゃんに、「最近のはやりは？」と聞けば「EC」（ヨーロッパ・カジュアル）、「イタカジ」（イタリアン・カジュアル）というセリフがポンポンと返ってくる。CDを置いているところで売れ筋を聞けば、おじさんが「ユーミン」と答える。ん、おヌシみかけはオジンなのにナカナカやるで



なんでもそろった購買部で思わず安くておしゃれなベルトを買ってしまう

はないか……。

しかし、これはまあ、なんというか、学生生活に必要なものがすべて生協にある。学生は、安心してキャンパスライフを謳歌することができるというものだ。

## 地に落ちた信頼を 回復するために

ところが、この天国のような立命館大学生協。「そんなあまいもやおまへんにゃ」。新聞の一面記事となった立命大生協3億円横領事件。3年前の83年のこと。生協本部職員がひき起こした事件だ。しかし3億とは、よくも使い込んだものだ。

「ほなら、出ていけ〜」てなもんで、大学当局は冷たく見放すわ、学生組合員からは「食堂のメシの質が悪いのは、そのためだったのか」などと、いろんなこと言われるわで、生協は窮地に追いつめられた。

「大学生協は組合員自身の出資金によって運営される、言わば組合員がオーナーの組織ですが、直接管理している訳でもないし、専従の職員を信頼して委託しているのです。しかし管理する本部組織に、まともなチェック機構がなかったわけで、悪意のある人間がはいりこんだら非常にモロい組織だったんです。3億円横領事件は、まさにうちの生協にとって十字架となりました」

そう言って立命大生協常務理事の三浦さんは、



ウン、ラーメンの味もなかなか……



「私のひとこと」にはケツサクが多いネ。ギャグのネタみつけにまた来よかな？



食堂のレジのおばちゃんには、いい話が聞けた



立命大の伊藤総務部長と

唇を結んだ。

それから3年間。生協再建運動が着手され、3億円の返済も、来年には完了する予定という。とはいえ、いったん失墜した信頼を回復するのは、なみたいていのことではないはずだ。

だが、さすがというか、この3年間、学生・教職員に対するサービスは、かえって向上したという。組合員に対して、本気で良いものを供給し、サービスを提供する。そのなかで再び信頼関係をつくりあげてきた、というのだ。

いったんは見放した大学当局も、そんな生協に力を貸した。下宿斡旋業務を生協に移管したのも、そのなかのひとつだ。

立命館大学総務部長の伊藤さんはいう。

「生協らしい生協をつくらうと、一丸となって努力されてきたと思います。生協は、福利厚生や大学教育に不可欠の存在です。単なる利益追求の組織ではない。そのことが、努力のなかで、組合員の認識になってきた」

生協は、大学当局にとっての良きパートナーになるための「見放す」という試験に合格したのだ。

## おばちゃんの優しさに 発展の原動力を見た

あー、むずかしい話を聞いて頭が痛くなった。ひとつ、最近の学生が何を食べているのか、食堂をのぞいて腹をふくらまそうか。

食堂はかなり進んでいる。昔のようなお仕着せのランチだけではなく、“食べたいもの”という

食欲に応えられるように、メニューもバラエティーに富んでいる。栄養士さんに話を聞くと、学生の健康、食生活を考えて、安全・安心でおいしく、安いものをと、一生懸命だ。うん、いろんなところで、信頼を形にする努力が積み重ねられている。

レジのおばちゃんにも、心あたたまる話を聞くことができた。

「今では、昔みたいな苦学生はいないと思わはるかもしれませんが、チャンといやはります。毎朝、開店を待ってやってきて、決まってごはんのみそ汁だけ。毎日そればかり。たまには生卵1個、おまけしたげたい気分になります。実際には私の一存では何ともなりませんけどね。それに、たまにお金がない人がいたりしてね。私が立て替えてあげたりするんやけど、ちゃんと返しに来てくれはるんですね。そら、うれしいですよ」

こういう話に弱いんだ。いいね、立命の学生さんは、こんな生協のおばちゃんがいて。人間のぬくもりがある。こんなところが、たった3年で、いまわしい事件を帳消しにするような生協の発展を生んだ原動力じゃないだろうか。いや、だれが何といおうが、そうにちがいない。こんな優しさがつながって、一つの信頼の輪、協同の輪ができていんだらう。それでなきゃ、「大学生活に責任をもつ生協」なんて大見栄はきれない。

リッチちゃんもなかなかやるやないか、などと思いつつ背にしたキャンパス。それにしても、ギャルが少なかったなあ。

## レポーター役を終えて 生協を想う。

ショックだった。“かもめBOX”をレポートしたときのことである。

新鮮な魚がいっぱいあって3,000円也の“かもめBOX”。その日はご主人が早く帰ってくるから「愛を運ぶかもめBOX」と、ボクはネーミングした。フムフム、これはいいことやと、舞鶴の府漁連の建物に、軽く口笛吹きながら足を踏み入れたものだ。ところがだ、関係者の話を聞くうちに、それまでの軽い気持ちさがガラガラと音をたてて崩れていった。

舞鶴の漁業の深刻さはくり返さない。あの現実があつて、なんとかしてその出口を見出そうと始まったのが、生協との協同、提携だという。

パワーあふれる西新道商店街のイベントの裏にも、小売店がなんとか景気をもりかえそうと模索し、生協と手を取りあおうと、カンカンガクガクの議論をつみ重ねてきていた。

ギャルこそ少なかったが、にぎやかな立命のキャンパスの、食堂のレジで出会ったおばちゃんは、毎朝ごはんのみそ汁だけの学生に、そっとタマゴをさし出そうという想いにかかれていた。

ボクがささやかな“主夫体験”をつうじて感じたことのひとつは、生活をするということは、きわめて偉大なる事業である、ということだ。当初

はカレーも満足に作れず、息子・娘のことを何ひとつ知らなかったボクの自戒の念もこめて、このことを声を大にして言いたい。

今回の取材では、その生活を支え、よりよい豊かなものにしていこうと意欲に満ちた生協の一面を垣間見た。

もうひとつ。これは子育てのなかで痛感したことだが、「子どもの成長によって親が成長する」ということだ。“育ちあう”とっていいだろう。これを、生協にそのままあてはめようとするのは、少々ランボーかもしれない。が、生協が漁協なり、商店街なりと協同していこうという中身に、“育ちあい”を見る想いがする。

ボクは息子が「おとなしい」とばかり思っていて、息子がギャグを連発してクラスメイトを笑わせる面を、長いこと知らずにいた。むかいあった相手のいろんな面を発見し、育ちあうには、どうしたらいいのか。

体験が教えるのは「じっくりつきあう」ことである。厳しく、優しく、そしてしなやかな心を携えて。

ボクが見た、生協がやろうとしている協同事業なども、それはまだほんの緒についたばかりであろう。そしてそれが、どう育ちあっていくか、ぼくもまた、じっくりつきあってみるとしよう。

# 「そもそも生協って何だ？」

## 10問10答

**Q<sub>1</sub>** 「協同組合の6原則」について教えてください。

**A** 生協の根本にある考え方は「一人ひとりの自由な意思による協同・たすけあい」であり、その協同の力で組合員のくらしに役立つ事業やさまざまな活動をおこなうことが生協の目的となっています。

生協の運営は、ロッヂデールの「公正開拓者組合」以来の150年余の歴史のなかではぐくまれてきた協同組合精神と、現在も「国際協同組合同盟」が決めている「協同組合の6原則」にもとづいてすすめられています。

その「6原則」というのは、①加入脱退の自由、②民主的運営、③出資配当の制限、④剰余金の公正分配、⑤教育活動の重視、⑥協同組合間の協同強化、の6つです。

この「協同組合の6原則」は生協にかぎらず、農協や漁協など、協同組合と名のつく組織では、ひとしく大切にしているものです。

生協の実際の運営は、生協が準拠する消費生活協同組合法（以下「生協法」と略す）にもとづいてとられていますが、この生協法でも「協同組合の6原則」が基本となっていることはよく知られたことです。

**Q<sub>2</sub>** 生協の経営内容は公開されているのですか。

**A** 生協は広く国民に開かれた組織です。事業や経営の公開ということも、当然ながら、法にのっとり、誠実に実行しています。

まず、生協の決算や予算は、生協の最高議決機関である総会（総代会）で承認をえなければなら

ず、関連書類である事業報告書、財産目録、貸借対照表および剰余金（欠損金）処分案等が事業所に供えられ、組合員および債権者から請求があれば、いつでも閲覧できるようになっています。

また、監査制度も法によって定められており、監事が監査を行なった結果が「監査報告書」として総会（総代会）に提出されることになっています。

加えて、最近ではより監査機能を強めるために、常任の監事をおいたり、公認会計士等の監査をうけるというような工夫が、多くの生協で行なわれています。

生協が組合員の組織として文字どおり民主的に運営され、生協の運営に「組合員参加」が強まるなかでは、より日常的に事業や経営の内容が組合員に伝えられています。

**Q<sub>3</sub>** 生協の剰余金はどのように処分されているのでしょうか。

**A** 生協の事業や経営は利益追及を目的としたものではありませんが、生協が将来にむかってますます発展していくためには、適正な剰余金が確保されるような経営状態でなければなりません。

京都生協は「府下産直」として府内の生産地との結びつきを強めている



疑問をお持ちのあなたへ

この剰余金は、生協法にもとづき処分されています。まず、「法定準備金」「教育事業充当金」を積み立て、そのうえで経営基盤を強めるために剰余金の一部を「任意積立金」等の形で内部留保しています。同時に、組合員に対して剰余金を還元する立場から「利用高割戻し」「出資配当」がおこなわれます（ただし、「出資配当」については「年1割以内」という制限がつけられています）。

このように、剰余金が公正に分配されることが、生協の運営原則のひとつであり、株式会社などで剰余金が無制限に株主への配当になったり、役員の特典賞与になったりするのは大きく違っています。

**Q<sub>4</sub>** 生協法では員外利用が禁止されているのに、野放しで員外利用をさせているのでは……。

**A** 生協法では、員外利用について「組合員以外の者にその事業を利用させることができない。但し、当該行政庁の許可を得た場合はこの限りでない」と規定しています。

このような規定が意味するところは、生協の事業はあくまでも組合員のための事業であり、組合

畑に足を運んでの生産者との交流も盛んだ



員以外の利用を無制限に拡大することによって組合員の利用に支障をきたすことがないように、というのだと考えられています。

実際の生協の運営では、生協の店舗に「このお店は組合員のお店です。生協に加入してからご利用ください」と掲示をしたり、組合員証（メダル）の提示運動をするなどの方法で、生協への理解をしていただき、生協に加入してから生協を利用してもらうように、生協自身の手で員外利用防止の努力がされています。

最近の厚生省の調査でも、全国的にみて員外利用はごく限られた範囲のものであったと報じられており、「員外利用が野放しになっているのでは……」ということはありませんでした。

**Q<sub>5</sub>** 生協の事業が独占禁止法の適用除外になっているというのはどういうことですか。

**A** 独占禁止法第24条では、①小規模の事業者又は消費者の相互扶助を目的とすること、②任意に設立され、且つ、組合員が任意に加入し、又は脱退することができること、③各組合員が平等の議決権を有すること、④組合員にたいして利益分配を行う場合には、その限度が法令又は定款に定められていること、という4つの条件を満たすものについては、独占禁止法の適用を除外としています。生協は、農協や漁協などとともに、この条項により独占禁止法の適用除外団体となっています。

同じように、独占禁止法第24条2の規定により、生協は再販売価格維持契約の適用除外の団体とされています。

大学生協が、書籍やレコードを定価でなく、組合員の要望にもとづき割引価格で供給しているのも、このような規定によるものです。

## Q6

生協が株式会社をもっているというのはホントですか。

**A** 生協が出資をして株式会社などの形態による別法人をもっていることがあります。それは営利追求のためではなく、①生協としては営業上の資格をもつことが業法上認められない場合、②業務内容等が特殊なため、別途管理せざるをえない場合、③異種の協同組合との協同組織をつくる場合、におこなわれていることです。

このような場合、別法人組織が、生協からはなれてひとり歩きしないように、役員構成や運営面での工夫がされています。たとえば、生協の役員が別法人組織の役員を兼務したり、生協の総会（総代会）、理事会に別法人組織の業務報告をするなど、生協の本来の目的や協同組合精神が貫かれるように努力されています。

京都の場合でも、旅行、保険等を専門的に取扱うための株式会社京都文化事業センター、肉、魚などの加工処理を行なう株式会社京都協同食品プロダクトが、生協の出資する別法人組織として機能しています。

## Q7

生協の出店で小売商の営業が圧迫されているのでは。

**A** 小売商の営業のきびしさは、国民の購買力低下のなかでの「消費不況」に基本的な原因があるものです。また、大手スーパーの全国チェーンやローカルチェーンによる流通支配の進行という問題を無視して、生協の出店だけに小売商の苦しさの原因をもとめることも正しい見方ではありません。全国の生協の事業高が小売総額に占める割合をみても2%に満たないのが現状で、小売商の営業活動を生協が狭めているという実態にはないといえます。

また、生協の出店にあたっては、規模の小さなものであっても地元の商店街などとの話し合いによる調整をすすめています。結果として、生協のお店と地元の商店街との協力関係がつけられている事例も少なくありません。逆に、生協の出店にともなうトラブルが実際におきているのは例外



的であるというのが実態です。

今後は、大資本本位の都市開発がさらにすすむことが予想されており、生協と小売商とが協力しあって住民本位のまちづくりをすすめることがいっそう重要になってくるといえるでしょう。

## Q8

平和運動など政治活動をするのは生協としておかしいのではないのでしょうか。

**A** 生協法に「(生協を)特定の政党のために利用してはならない」との規定があります。

このことにより生協がいったい政治にかかわる活動をしないようにと受けとめられがちですが、そうではありません。

生協では「よりよき生活と平和のために」というスローガンに示されたとおり、「健康で豊かな暮らしをしたい」「核兵器のない平和な社会がつづいてほしい」といった消費者の願いをあつめて、



主婦の目が商品を選ぶ(写真左)。医療生協では健康づくりに力を入れている(上)。府民の暮らしを守る灯油運動もさかん(下)。

くらしや平和を守る運動を、だれもが参加できるような方法ですすめています。

たいせつなことは、組合員の政治的自由を全面的に保障することです。また、特定の政党の支配に服しないことです。組合員がどのような政治的立場・行動をとろうとも自由であるということを尊重するとともに、組合員の意思をふまえて総会（総代会）や理事会が自主的にきめたことをたいせつにして運営するよう努力しなければならないということです。

核戦争の脅威がさげられる今日、むしろ平和運動はますます重要になってくることでしょう。

## Q9

ヨーロッパの生協の経営不振が報じられましたが、日本の生協の現状はいかがでしょう。

## A

フランスの生協連合会が解散、ロンドンの生協が倒産……など、ジョッキングなニュースが伝えられています。

日本の生協でも、一部に経営不振に苦しむ生協があることも事実ですが、基調としては、日本の生協は着実な発展をとげているといえます。1985年度末には、組合員数が1023万人、生協事業高が1兆8655億円に到達してきています。

日本の生協が、このような前進をしつづけているのは、「班」を基礎にした組合員の参加、民主的運営のための努力がねばり強く続けられているからです。とくに、「班」については、世界の協同組合のよく知るのところとなっています。

また、CO-OP商品を中心にした組合員の手による商品活動の広がり、農協や漁協との協力・協同の前進、生協間の事業連帯なども、日本の生協運動の発展の力となっています。

## Q10

物資窮乏時とちがいで、今日では生協の役割が終わったのでは……。

## A

確かに「現在のように物価も安定し、物も豊富な時代には生協はもう必要ない」ということがいわれることがあります。

しかし、現実には、生協の存在はますますたいせつなものになり、生協の社会的役割発揮への期待がいっそう高まっているのです。だからこそ、生協の事業と運動は広がりつつけているのです。

京都府生協連としては、80年代後半期において、つぎのような四つの基本目標のもとに、京都の生協が「地域社会の一員」としてさらに重要な役割をにないながら前進することをめざしています。

1. 府民・組合員の暮らしと地域社会や経済の実際をよく知り、その改善・発展のために役割を果たす。
2. 京都では、文化・芸術・教育の諸問題が特に大きな位置を占めていることを認識し、その新しい発展のために役割を果たす。
3. 反核・平和など府民運動として追求されている問題について、「知り・知らせ・考え・話しあう」共同行動に加わるとともに、消費者運動の発展のために役割を果たす。
4. “生協規制”をはねかえし、府民・組合員から頼りにされる生協をつくりあげるために全力をつくす。

## 私の暮らしにとっての“生協”

「私は、遠まわりしてでも生協で買物をしているんです」と天野さん。「最初は工学部だったんですが、生協をやっているうちに、研究したいことが変わってしまって、経済学部へ転部しました」と伊藤君。熱烈な生協大好き人間の2人が、お互いの生協との出会い、それぞれの活動ぶり、生協にたくす想いを語りあいました。

### 生協との出会いは CO-OP商品と友人

——最初に、生協との出会い、といったところからお話しいただきませんか。

**天野** 私が京都生協の組合員になったのは8年前のことです。きっかけは、たいしたことじゃなくて、いい商品が手に入るよと誘われて、とりあえず加入してみたんです。

確かにお肉とか卵とか新鮮やったし、牛乳もお

いしかったんですが、どこがどう良いのかってことは、ぜんぜんわからないって感じで……。

それが変わったのは、運営委員になってからです。実際につくっている農家との交流に参加して、生産者の顔が見えて、ものすごく感激したんです。朝の5時に起きて、苦労しながら私たちが飲む牛乳をつくってくれている。ああ、こうやっておいしい牛乳が私たちの手許に届けられているんだなあ、と。

そのことがきっかけになって、いろんなことを知っていききたいという興味がわいてきました。いろいろと生産の現場を見に行くようになりました。

そうこうしているうちに、「理事にならないか」といわれて……。力を入れて食品添加物の問題にとりくむようになったんです。「どうしたら安全な食べものを手に入れることができるか」とみんなで考えて、結局、自分たちで安全な商品をつくるしかない、ということがわかってきた。いわゆるCO-OP商品ですね。でもそのためには、生協組合員がいっぱいいて、その商品を大量に購入してくれるようにしなければならない。

そういう話になって、私、一生けん命、組合員をふやしました。「率直に言って値段が安いとは必ずしもいえないけれど、添加物が入ったものを食べるより安全なものの方がいいんじゃないか」って、発色剤のテストをしたり、試食会したりで、仲間をふやしてきました。私は八幡市に住んでいますが、当時200人前後だった生協組合員が、今では約7,000人になっています。

だから、私と生協との出会いは、安全・安心の商品との出会いといってもいいですね。

**伊藤** ぼくの生協歴は1年半です。大学に入ったときに、入学手続きの延長みたいな感じで生協に入りました。

多くの学生はそれだけなんです。ぼくの場合は、生協のアンケートに答えているうちに「君が大学でやりたいと思っていることは、ぜんぶ、生協運動のなかでできる」なんて、うまいこと話をされて、学生委員になったわけです。

学生委員になって、最初のカルチャーショックを受けたのは、学生委員会の会議に参加したときですね。誘われて出てみると、なんと延々6時間も会議をする(笑)。それ以来、ぼくの生活は生協一色に塗りつぶされて、今は生協が休みになってしまうと、何をしたらいいのかわからないというか……(笑)。

**天野** そのへんは私も一緒です。あけてもくても生協、生協で走り回っているかんじですね(笑)。

**伊藤** で、ぼくにとっての最大の収穫は、友だちのひろがりですね。生協の活動は奥が深いから、どんどんひろがっていくかんじです。

**天野** 生協のよさって、そういうところありますね。生協規制の問題で東京の集会に行ったら、全国の生協から来ていて、「ワー、これだけ全部仲間や」と、すごく力強く感じたりします。

**伊藤** 大学って外からみると、にぎやかに見えますが、実際は本当に小さな集団がポツリポツリとあるだけで、横のつながりが少ない。それを生協が“食生活”とかを通じて、かためてつないでいく——そんな役割を果しているように思いますね。

### 大学生協の活動に お母さんも安心

——伊藤君の生協との出会いは、仲間との出会いってところですね。いまいわれた大学生活での“食生活”というあたりを、もう少し——。

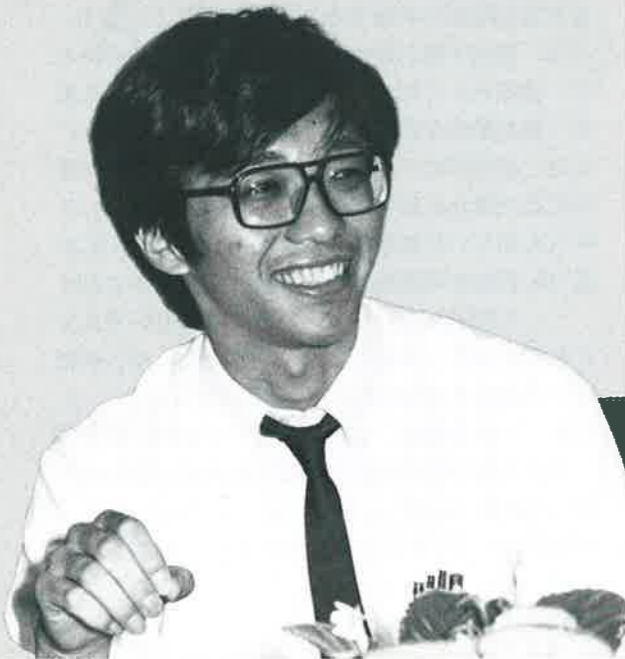
**天野** あ、それ、私も聞きたかったんです。私の

娘はいま、東京へ行っているんですが、何を食べているのやら、まったくわからないんです。家にいる間は、安全なものを責任をもって食べさせているという自信はあるのですが、一歩外に出るとどうなっているのか、ものすごく不安なんです。伊藤 いまの学生の実態からいいますと、たとえばお米をとぐのに洗剤を入れる学生がいたりするんです(笑)。

**天野** それ、ほんとうの話なんですか？

**伊藤** ウソのようなホントの話、なんです。だから、新入生、とくに下宿生に対しては「自炊のすすめ」といった形で、どういうふうに自炊するかということを細かく書いて、「材料は生協の安全・安心の食品を」と提案しています。『自炊のすすめ』という本はベストセラーになっています。他にも、「毎日、牛乳を飲もう」とか、栄養に関する豆知識とかを生協食堂の卓上メモにして提案しています。

そのかいあってか、今年実施した食生活調査に



もとづく栄養士による健康診断では、「牛乳の飲みすぎ」という人が出てきました。1日に1リットル以上飲んでいるというんですね(笑)。

**天野** 逆の現象ですか(笑)。でも、お話を聞いて安心しました。私、仕送りしたお金はパーッと使われて、あとはラーメンとかですごしているんじゃないかと、不安だったんです。

**伊藤** ラーメンだけの生活はやめよう、とも提案しているんです。また、ラーメン食べるにしても、野菜を入れようとかの、一步高い食生活、自炊の方法を呼びかけています。そのために、タマゴ1パック10個というのと、1人暮らしでは扱いにくいから、1パック2個にして提供するとかの工夫もしています。

**天野** そういう提案があるから、学生さんの食生活が守られているんですね。それがなかったら、どんな食生活をおくったらいいいのか、親元からいきなり放り出された者にとっては、何もわからへんと思いますね。

お話を聞いていると、大学に生協があるかどうか、親としては、子どもをどこの大学へやるかという基準のひとつになりそうですね(笑)。

## 生協の原点 「助けあいの会」を

—話は変わりますが、天野さんは現在、「助けあいの会」の準備をすすめているそうですね。

**天野** ええ、仮称で「CO-OP助けあいの会」というんですが、京都生協の共済委員会が、今年の10月に発足させる予定で準備しています。高齢化社会にむけて、一人暮らしのお年寄りの方にちょっとお手伝いできたらなァ、というのが趣旨なんです。

1時間350円くらいの手間賃で、一人2時間くらいの単位で家事援助をしていこうということですね。お料理とか買物とか、掃除、洗濯とかですね。援助会員を募集したら——「どれだけの人が来てくれるか」と最初は心配してたんなんですが——左京

区だけで50人ほど名乗りをあげてくれています。「こういう話を待っていた」といってくれる人もいて、スムーズにすべり出しています。左京区をモデル地域にして出発させるんですが、なんとか全体に広げたいなァと思っています。

**伊藤** その「助けあい」は、興味ぶかいですね。今まで生協というと「安全・安心」とかの物質面が多かったんですが、今度は精神面での助けあいですね。なにか、ひとつの飛躍というか、新たなステップを踏むところにあるように思えますね。

大学でも、それがあると思います。ずーっと受験勉強してきた人間は、ともすると大学に入ってから、勉強しかない。それが、生協をつうじて友だちをつくって自分の生活圏をひろげ、生活に厚みをつくっている。すごく薄っぺらな大学生活に、いろんな要素がとりこまれてくる——。かくいうぼくも、そのおかげで、研究テーマを変えまして、工学部から経済学部へ転部しました。

**天野** それはまた、すごい影響ですね。

生協は「助けあい」の精神から発展してきたんですね。

その「助けあい」は班を基礎にして、ということだったんですが、いまの地域社会では、5人の班員全員がお年寄りで班の維持ができないところもあるんです。だから、助けあいを、なんとか制度、組織にしていく必要があるんですね。



の生活はもっと豊かになるし、大学を出て社会人となったとき、いろんなプラスが出てくるでしょうね。

**天野** 地域で、お父さんの会社の話聞いてもらったりとかね。それから、文化的なことでも、いま地域生協でとりくんでいるんですが、もっと参加してもらえそうですね。

**伊藤** コンクリート砂漠の団地の中に、生協の班ができたために、まつりが生まれた、というのは大阪の話でしたか。生協はすごいパワーをもっている——。

**天野** そう、その生協の組織を活かせば、いろんなことができると思うんです。夢のようなことでも、知恵を出しあって、広がりをつくり出すことによって実現できてきたし、これからも大学生協との連携やお父さんの協力を得ながら、よりよい暮らしを実現していきたいですね。

—生協がいろんな可能性をもっていること、地域の生活や大学の生活をより豊かにするために、生協がどんな形でかかわっていくことができるのか——といった点まで話がふくらみ、新たな挑戦課題まで見えてきましたね。さすがに“寝ても覚めても生協人間”どおしの対談になりました。どうぞこれからもがんばってください。

**天野みどりさん(51才)**  
京都生協共済委員会委員長  
京都生協八幡男山北運営委員会委員

**伊藤啓介くん(20才)**  
京大生協学生理事  
京大生協組織部学生委員会教養部副学生委員長

**司会 原 強**  
京都府生協連常務理事

## 地域と大学の交流で より豊かな暮らしを

**伊藤** そんな地域生協の場に、学生が出ていくこともできますね。医系学生なら、自分の研究や将来のこととかもからんで、老人医療の現実にふれていくことは大切ですから。

**天野** そういふことができたらいいですね。

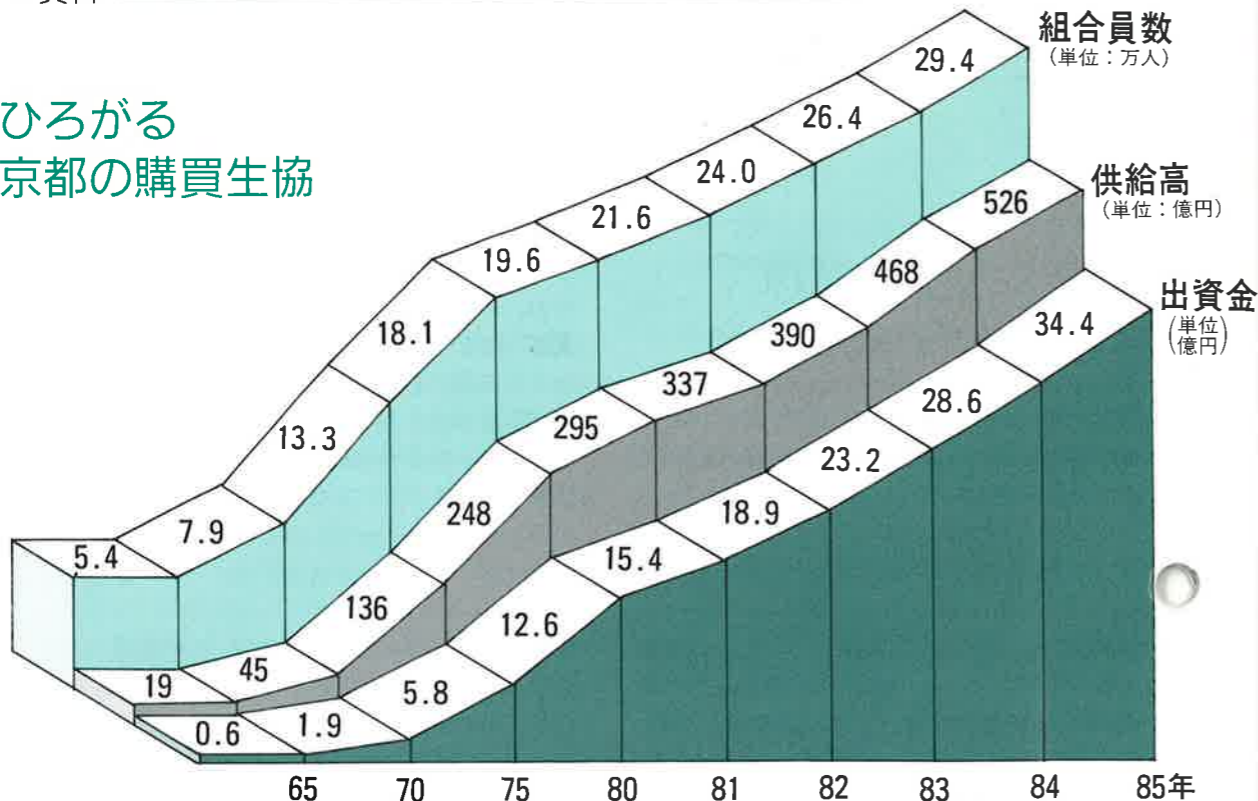
私、いつも思っているのは、もっと地域生協にお父さんが出てきてほしいなァってことなんです。お父さんも学生さんも、地域で一緒になってできることって、いっぱいあるように思えるんです。

**伊藤** そうですね。テーマが共通していれば可能ですね。平和の問題だったら、いま大学では、自分の親の戦争体験を聞こうっていう運動をしているんです。そんなことも地域に出ていけば、いろんな人との交流のなかで自然にできそうですね。

いまの学生は、昔の下宿屋のおばちゃん、おじさんに世話になるんじゃないなくて、アパート、学生マンションですから、「京都」を知らずに大学だけの4年間を送っている……。地域との接触、交流が少ないんですね。

大学での生活、地域での生活——生活のすべてに生協がかかわっていけるようになったら、学生

# ひろがる 京都の購買生協



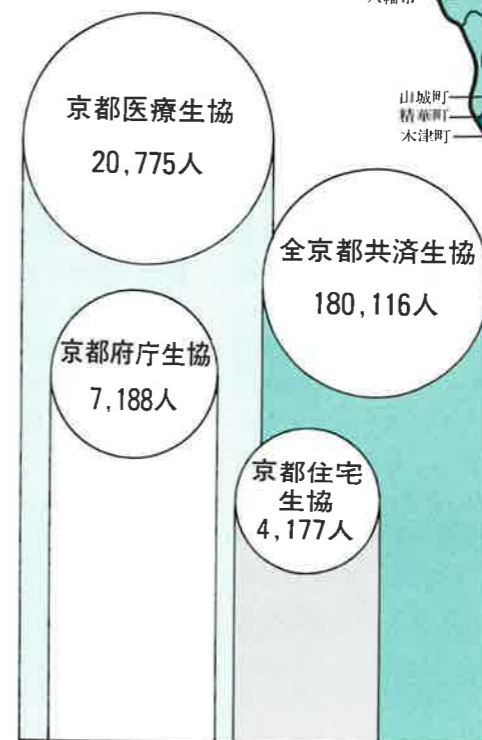
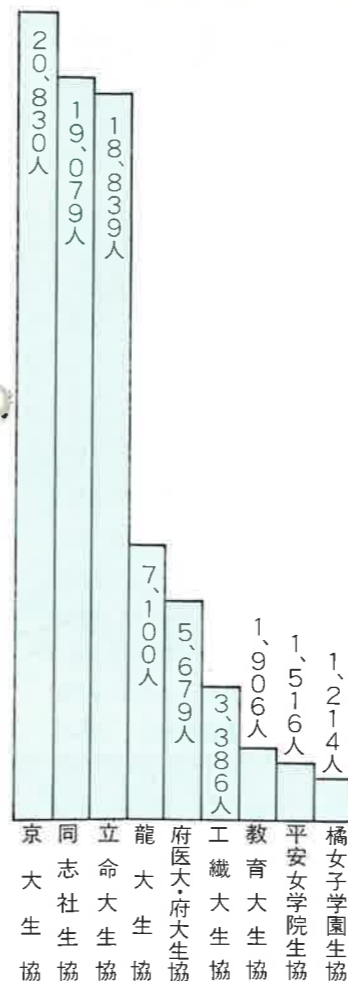
## 京都府生協連加盟の生協一覧

種別	名称	主たる事務所の所在地	電話番号	代表者氏名	設立年月日
地域	京都生活協同組合	京都市南区吉祥院石原上川原町1	681-1100	横関 武	40. 5.29
	あみの生活協同組合	京都府竹野郡網野町字網野139番地	07727-2-5046	岡野 時夫	58.11.15
	呉竹生活協同組合	京都市伏見区両替町4-304	601-2341	森 清	25. 2.20
	八条生活協同組合	京都市南区八条大宮西入八条町434	691-7238	岩崎 龍吉	25. 3.18
大学	京大大学生生活協同組合	京都市左京区吉田本町	771-6211	山口 巖	33. 3.11
	同志社大学消費生活協同組合	京都市上京区烏丸今出川上ル玄武町	251-4422	太田 進	33. 8
	京都府立医科大学・府立大学生生活協同組合	京都市上京区河原町広小路梶井町465	251-5952	広原 盛明	34.12.26
	立命館大学生生活協同組合	京都市北区等持院北町28	463-1109	田井 修司	37. 6.14
	京都教育大学生生活協同組合	京都市伏見区深草藤の森町1	643-3313	金井 秀子	41. 2. 3
	龍谷大学生生活協同組合	京都市伏見区深草西浦町4-2	642-0213	宮永 昌男	42. 4.15
	京都工芸繊維大学生生活協同組合	京都市左京区松ヶ崎御所海道町	781-5359	菱谷 政種	46. 5.20
	平安女学院生活協同組合	京都市上京区室町通下立売	441-7209	吉井 和夫	50. 4.26
	京都橘女子学園生活協同組合	京都市山科区大宅山田町34	571-2325	内田 郁雄	54. 9.29
職域	京都府庁生活協同組合	京都市上京区下立売新町西入	451-6976	草木俊次郎	47. 1.25
	京都医療生活協同組合	京都市中京区河原町三条上ル山本園ビル	255-4336	中野 信夫	26. 3. 20
医療	乙訓医療生活協同組合	向日市寺戸町西野辺13-4	921-0661	蔡 東隆	59.12.21
	全京都勤労者共済生活協同組合	京都市中京区壬生仙念町30-2	801-8107	古島小二郎	36.12.25
共済	京都労働者住宅生活協同組合	京都市中京区壬生仙念町30-2	801-5121	北林 英二	41. 4.11
住宅	生活協同組合連合会	京都市左京区高野玉岡町23-3	711-1115	伊吹良太郎	46. 4.30
連合会	大学生生活協同組合京都事業連合				

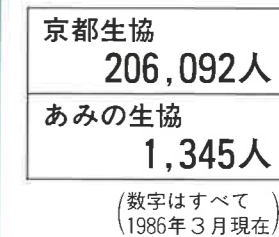
## 京都生協の市町村別組織率



## 大学生協の組合員数



## 地域生協の組合員数



## 生協を知る本

# 生協と協同組合を 深く知るために

「戦後政治の総決算」ということで、国民生活や地域産業への攻勢はすさまじばかりです。日本の農業を破壊に導びく農産物輸入自由化、地域経済を壊滅させる円高問題、消費者の分断と孤立化をねらう生協規制、そして財政欠損のツケを勤労国民に転嫁する大型間接税導入の動きと、枚挙のいとまのないほどです。今こそ、農民も中小業者も消費者もたがいにつなぎ、生活や経営を守るほかに道はありません。生協運動のなかまも、こうした国民的運動の一角を守って奮闘しています。

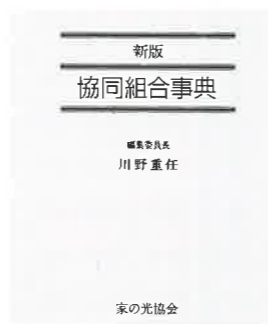
ところで、生協といえば、この長期不況下にもかわらず驚異的發展をとげ、また「保守回帰」といわれるこの時期にも草の根民主主義のエネルギーをためこんでいます。生協とは何なのか、いったい何しようとしているのか。こういう関心が国民のあいだに急速に高まっています。

こうした関心にこたえうる生協ガイドンスの書を2、3紹介しましょう。野村京大教授等を編者とする『転換期の生活協同組合』（大月書店刊）は、生協組合員の生活実態や消費意識の分析からはじめて、「コープ商品」等の事業活動や経営管理の特徴（スーパーとのちがい）、平和運動へのとりくみ方など、あるがままの生協運動を総合的にうつつし出し、今日における到達点と展望を明らかにしています。読む人にとって、何の先入観もなしに生協の全体像がつかめるように編集してありますので、“本格的な生協の体系書”ともいわれています（『日経』七月六日付）。

生協の事業活動、組合員活動が分かったとし

て、それでは、それらを支える生協労働者は何をよりどころに働き、何を目標に頑張っているのか。同じく大月書店刊『地域社会と生協運動』（生協労連編）は、生協労働者からみた生協運動、地域での役立ち方を論じたもので、彼等の地域への協同と連帯メッセージが行間から読みとれるものです。

「戦後政治の総決算」路線に対決するには、国民諸階層の連帯と協同が一番有効です。特に日本のように、大都市に結集する大企業の支配力が桁外れについ社会では、地域の暮らしを守る最善の方法は、地域の協同でしょう。協同組合に関心が集まるゆえんです。こうした期待に応えるべく新たに編集し直されたのが『新版・協同組合事典』（家の光）です。各分野の第一線の専門家259名の総力が結集されたもので、生協はじめ協同組合の全貌を、理論・歴史・政策・法制的各方面から体系的に明らかにしており、各団体には必要不可欠の知恵袋といってよいでしょう。（K）



## 生協へ 私のひとこと

### 生協の発展に学ぶ



京都中小企業家  
同友会代表理事 橋本嘉雄

生協は何といっても、お客様とのむすびつきが抜群です。生協は本来、消費者の組織ですから、当然といえばそれ迄ですが、私どもも固定客をつくるのにいろいろとサービスなどの苦勞をしますが、まだまだです。

生協は又、お客様のニーズを的確につかまえています。これも組織からくることと思いますが、努力なしにはここまでいかないでしょう。私どももニーズだとか、情報だとか申ししていますが、とても及びません。

更に、品質管理が徹底しています。やはり組合員のニーズに応じて、良い品を選び、良い品を作らせるよう努力していただける結果だと思います。

このような生協は私どもにとっても、商売ではかなりの強敵です。規制をいう向きもありますが、生協が消費者のための、消費者自身の組織であることを考えるならば、N商店街のように、むしろ、互いに提携して歩むのが私どもの方向であろうと思います。

### 亭主の責任と夫婦生協



シナリオ作家 小谷正治

“生協が何か”もまるで知らない私が「京都生協ルポ」（文理閣）の取材執筆にとりくんでもう9ヵ月がたちました。まだ脱稿できずに苦しんでいます。でも多くの人びとのご協力ですべてこの頃“生協のイロハ”くらいはわかったかなと思いががっています。

そんな中で私がずっと気にしてきたのは、「くらしと平和を守る生協活動にとりくんでいるのはすべて主婦たちである」ということです。当然だと笑われるでしょうが、考えてみると、これは亭主たちにとって大変な意味があると思うのです。だって平和を守るのは本来男の役割でした。ま、その本来はさておき、今この主婦たちは“生協規制”ともけんめいたたかっています。こうした“健気”な妻たちのとりくみを知った以上、私も含めた世の亭主たちが傍観することは許されないと思うのです。だから将来は、亭主族も共にたたく“夫婦生協”になっていかなければ……、今そんなことを考えたりする私です。

### 生活文化と協同の思想



真鍋宗平デザイン  
事務所 真鍋宗平

消費者の氾濫と共に、「生活文化」という言葉が目につくようになりました。けれども、「生活」が本当に一人一人の「文化」として自覚されているかとなると、はなはだ心細い限りです。本格的な「生活文化」の実現には、新憲法から出発した私たちの「生活民主主義」と、「協同」の思想を抜きにして考える事はできません。

だからこそ、社会の担い手としての庶民の悪戦苦闘と共に、それらを築いて来た「生活協同組合」の到達点に対して、今をときめく流通資本の目が、注がれているのです。

本来、最も誇り高い先端的な流通のシステムである生協が、それに相応した商品性、デザイン、情報表現、店づくり、等を実現する事は、溢れるばかりの情報と現実のアンバランスにほんろうされている消費者にとって、切実な課題です。それは又、生協を支えるひとたちの「協同」の思想が作り出す、手応えのある「生活文化」そのものになるはずで

### 健康願う期待にこたえて



仁和診療所・医師 鈴木富美

今や飽食の時代といわれ、過剰摂取が問題になりはじめました。医療においては、伝染病が激減した一方で、慢性疾患に悩む人が多くなりました。牛乳、卵、肉、油（大豆）の摂取量が急激に増加して以来、それらの食物アレルギー病は増加の一途をたどり、保育、教育関係者からもアレルギー疾患の増加が指摘されています。これに拍車をかけ悪化させているのが、残留農薬、食品添加物、排気ガス等々の化学物質による環境・食物の汚染であることもしだいに明らかになってきました。

とくに被害を受けやすい子どもたち、未来をささえる子どもたちの健康を考える時、食物を含む環境の改善は、猶予のならない急務であるといえます。私たちは、豊富な食料品の中から、より安全なものを探さなくてはなりません。生協が安全性を第一においた活動をさらに広く深く追求し、健康を願う人々の期待に十分こたえられるように発展することを切に望んでいます。



京都府生活協同組合連合会  
京都市中京区夷川通烏丸東入ル  
西九軒町291(〒604)  
☎075-211-8519